

★・・・R7新規事業															令和6年度										令和7年度(6月末時点)		
No	事業名	事業概要	担当部局	事業年度								六つの取組の視点					進捗状況		実績	分析	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課			
				第1期				第2期				知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	予定どおり進捗した							予定どおり進捗しなかった		
				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10																
【柱1】古代から現代までの豊富な文化財																											
★	木幡家住宅発掘調査事業	民間事業者からの受託を受け、木幡家住宅(穴道町)の発掘調査及び報告書作成業務を行うもの。	文化スポーツ部						●					●		●					—	—	—	・R7.4 発掘調査完了 ・R7.6現在、報告書作成中 ・R8.3 刊行・発送予定	935千円	埋蔵文化財調査課	
★	松江城下町遺跡(東本町)発掘調査事業	民間事業者からの受託を受け、令和6年度に実施した松江城下町遺跡(東本町)の発掘調査にかかる報告書作成業務。	文化スポーツ部						●					●		●					—	—	—	事業準備段階	538千円	埋蔵文化財調査課	
★	出雲国分寺瓦窯跡発掘調査事業	島根県からの受託を受け、令和6年度に実施した出雲国分寺瓦窯跡(竹矢町)の発掘調査にかかる報告書作成業務。	文化スポーツ部						●					●		●					—	—	—	事業準備段階	962千円	埋蔵文化財調査課	
★	篠ノ谷遺跡発掘調査事業	島根県からの受託を受け、篠ノ谷遺跡(穴道町)の発掘調査及び報告書作成業務を行うもの。	文化スポーツ部						●					●		●					—	—	—	事業準備段階	2,054千円	埋蔵文化財調査課	
★	夫手遺跡発掘調査事業	島根県からの受託を受け、夫手遺跡(手角町)の発掘調査及び報告書作成業務を行うもの。	文化スポーツ部						●					●		●					—	—	—	事業準備段階	4,534千円	埋蔵文化財調査課	
★	文化財情報発信施設整備事業(埋蔵文化財調査センター)	埋蔵文化財センターと松江市文書館(仮称)を一体的に配置し文化財情報を調査・発信する施設「文化財情報発信施設」のうち、埋蔵文化財センター部分を整備する。	文化スポーツ部						●	●				●		●					—	—	—	・環境センターの改修工事実施にあたり、間取り、設備等を松江城・史料調査課(文書館)と検討し、公共建築課、デジタル戦略課と協議を実施した。 ・7月に設計業者と契約済み。8月には松江城・史料調査課、公共建築課と協議を行い、現地確認も実施した。8月末には平面図等について再度協議を実施する予定。 ・備品の確保、購入にあたり、環境センターの備品の確認や業者との協議を実施した。 ・R8年度は補助事業で改修工事を実施するため、島根県文化財課との協議もすでに1回実施した。8月28日に2回目の協議を行い、9月10日に文化庁に事前協議を行う予定。	3,122千円	埋蔵文化財調査課	
★	文化財情報発信施設整備事業(文書館)	松江市の所有する歴史的に重要な公文書と地域に残る歴史資料(古文書等)を収集・保存し、市民の利用に供するための施設「松江市文書館」を整備するもの。	文化スポーツ部						●	●				●		●					—	—	—	・市民等が歴史的公文書や地域の歴史資料などの史料をもとに、地域の歴史を知ることのできる拠点として、現在の松江市環境センターを改修し文化財情報発信施設の一つとして「文書館」を整備するもの。 令和7年度は設計業務委託を行う。	1,996千円	松江城・史料調査課	

No	事業名	事業概要	担当部局	事業年度								六つの取組の視点					進捗状況		実績	分析	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課	
				第1期				第2期				知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	予定どおり進捗した							予定どおり進捗しなかった
				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10														
★	国宝松江城天守保存修理事業	昭和25年～30年の解体修理から70年近くが経過し、屋根や外壁等に損傷が目立つ国宝松江城天守の維持修理を行うもの。	文化スポーツ部							●	●	●	●			●			—	—	—	・昭和25年～30年の解体修理から70年近くが経過して屋根や外壁等に損傷が目立つ国宝松江城天守の保存修理に向けた基本計画を策定する。	12,275千円	松江城・史料調査課	
★	松江城天守国宝指定10周年・天守保存150周年記念事業	松江城天守国宝指定10周年・天守保存150周年という大きな節目にあたる令和7年を祝うとともに、松江城天守を守り伝える機運がさらに高まるように、松江城の価値や魅力を発信するもの。	文化スポーツ部							●				●		●			—	—	—	令和7年は、松江城天守の国宝指定から10年となるだけでなく、明治8年の天守保存から150年という大きな節目にあたる。この記念すべき節目を祝うとともに、松江城天守を守り伝える機運がさらに高まるように、松江城の価値や魅力を発信する。 ・記念式典・記念講演(実施済) ・記念イベント等支援補助金(実施中) ・国宝天守保存リレー講座(実施中) ・松江城関係資料集「旧藩事蹟」製作(実施中)	8,661千円	松江城・史料調査課	
101	市指定華蔵寺お成りの間保存修理事業補助金	市指定文化財建造物のお成りの間について、所有者が行う周辺支障木の伐採工事に対して市で補助をする。	文化スポーツ部					●						●		●	○		補助金交付決定、R6.11月事業実施、支出済。	令和6年度で事業終了	1,100千円	—	—	文化財課	
102	市指定野原町八幡宮の七十五膳神事用木椀製作事業補助金	市指定文化財となったことにより、保存のために松江歴史館に寄託された木椀の複製の製作に対して市で補助をする。	文化スポーツ部					●						●		●	○		補助金交付済み。製作事業実施完了。	令和6年度で事業終了	150千円	—	—	文化財課	
103	記録選択無形民俗文化財青柴垣神事調査事業	今後の継続が危ぶまれている「青柴垣神事」及び「諸手船神事」について調査を行い、記録を取る。	文化スポーツ部					●	●	●				●		●	○		・青柴垣神事等調査委員会の設立、開催。 ・青柴垣神事、諸手船神事の実施状況調査。 ・神事に関する資料調査。	令和8年度の調査報告書刊行を目指し、青柴垣神事、諸手船神事の調査・記録化をすすめる。	1,071千円	・青柴垣神事等調査委員会の開催。 ・青柴垣神事の実施状況調査。 ・神事に関する資料調査。	2,103千円	文化財課	
104	松江城下町遺跡(殿町)発掘調査事業	民間事業者から受託を受けて実施したマンション建設工事に伴う発掘調査の報告書作成を行うもの。なお、文化財保護法第93条及び第99条の規定に基づく、記録保存のための措置。	文化スポーツ部					●	●					●			○		報告書作成	発掘調査報告書を刊行・発送	2,351千円	発掘調査報告書刊行・発送予定	1,769千円	埋蔵文化財調査課	
105	福富Ⅰ遺跡発掘調査事業	民間事業者からの受託を受け、福富Ⅰ遺跡(乃木福富町)の発掘調査を行うもの。なお、文化財保護法第93条および第99条の規定に基づく、記録保存のための措置。	文化スポーツ部					●	●	●				●			○		事業延期	R7年度実施予定	20,200千円	R7.6より発掘調査実施中。発掘調査報告書作成予定。	6,540千円	埋蔵文化財調査課	
106	松本遺跡発掘調査事業	民間事業者からの受託を受け、松本遺跡(乃木福富町)の発掘調査及び報告書作成業務を行うもの。なお、文化財保護法第93条および第99条の規定に基づく、記録保存のための措置。	文化スポーツ部					●	●					●			○		発掘調査を実施した	継続して発掘調査を実施予定。発掘調査報告書作成予定。	24,853千円	R7.5 発掘調査完了。続けて報告書作成予定	951千円	埋蔵文化財調査課	
107	史跡松江城整備基本計画策定事業	史跡松江城は、平成5年に「史跡松江城環境整備指針」が策定されて史跡整備が行われてきたが、以後20年以上が経過して環境や社会情勢が大きく変化することを受けて、平成27年に「史跡松江城保存活用計画」を策定した。この保存活用計画をもとに史跡全体を見通した整備基本計画を策定し、環境整備を図るもの。	文化スポーツ部					●	●					●	●		○		令和6年度は史跡松江城整備基本計画策定委員会を2回開催し、計画の第5章までを策定した。	令和7年度中の史跡松江城整備基本計画完成に向けて取り組む。	6,132千円	・R7年度は松江史跡松江城整備基本計画策定委員会を3回開催し、計画を完成させる予定。	11,632千円	松江城・史料調査課	
108	法吉二反田遺跡発掘調査事業	民間事業者からの受託を受け、法吉二反田遺跡(法吉町)の発掘調査を行うもの。なお、文化財保護法第93条および第99条の規定に基づく、記録保存のための措置。	文化スポーツ部					●	●					●			○		発掘調査を実施、完了した	発掘調査報告書作成予定。	12,684千円	発掘調査報告書作成中	851千円	埋蔵文化財調査課	
109	スポーツ・文化振興財団管理	公益財団法人松江市スポーツ・文化振興財団に係る人件費等。	政策部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○		令和6年4月にプラバホールリニューアルオープン。	・松江市総合文化センター(プラバ・市立図書館)の改修に併せて本市の文化振興を後押しするため、財団のあり方や役割を整理する時期を迎えている。	189,527千円	・引き続き、本市におけるスポーツの普及・振興と芸術文化や文化情報に接する機会の提供を図るとともに、財団のあり方や役割の整理を検討する。	190,155千円	政策企画課	

No	事業名	事業概要	担当部局	事業年度										六つの取組の視点					進捗状況		実績	分析	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課	
				第1期					第2期					知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	予定どおり進捗した							予定どおり進捗しなかった
				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10																
110	城下町・水の都魅力発信事業	観光戦略プランを強力に推進するため、コンセプトである「Authentic Japan “MATSUE” ～城下町 水の都 暮らしに息づく伝統～」にある「城下町」や「水の都」にスポットを当てた事業を展開し、松江市の魅力を最大限に活用した観光振興を図る。	観光部				●	●	●	●	●	●		●		●	●		○	令和5年に策定した観光戦略プランのコンセプト「Authentic Japan “MATSUE” ～城下町 水の都 暮らしに息づく伝統～」にある「城下町」や「水の都」の発信のため、下記の事業を行う。 ・松江城お城まつりの開催 →桜木のライトアップやステージ企画で桜咲く松江城を演出 ・松江城ステージイベント開催 →歌舞伎俳優・尾上右近の公演を実施 ・武者のまち発信事業 →松江城やJR松江駅で武者のおもてなし ・湖畔の賑わい創出事業 →嫁ヶ島のライトアップを実施。 ・情報発信事業 →人気タレントを活用したプロモーション ・松江城の国宝10周年の機運醸成・夕日のブランディングなど ・AIを活用した周遊促進事業 →JR西日本が提供する観光アプリの活用し、観光客の国産品販売を図る	国内外における知名度向上を図るためには、経緯統的な観光資源の磨き上げとプロモーションが必要であり、引き続き「城下町」「水の都」にスポットを当てた事業を展開していく。 (令和7年度予定事業) ・国宝10周年記念事業の実施 →特別版お城EXPO in 松江、松江城雲海ライトアップを開催予定 ・松江城お城まつりの開催 →桜木のライトアップやステージ企画で桜咲く松江城を演出 ・武者のまち発信事業 →松江城やJR松江駅で武者のおもてなし ・湖畔の賑わい創出事業 →嫁ヶ島のライトアップを行う。	59,673千円	松江城天守国宝指定10周年の節目を契機とした誘客促進を図る ・桜と武者のシーズン開催(3～4月) →桜木のライトアップ、武者をテーマとしたイベント ・特別版お城EXPO in 松江 →お城好きの祭典「お城EXPO」の特別版を松江で開催(6月28日、29日) ・松江城雲海ライトアップ →人工雲海とライトアップで松江城を華麗に彩る(6月28日～8月17日) ・武者のまち発信事業 →松江城での武者によるおもてなし	68,987千円	観光振興課		
111	嫁ヶ島活用事業	嫁ヶ島を活用したイベント開催を補助し観光資源として活用・魅力向上を図るとともに、常設ライトアップの維持管理を行う。	観光部	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●	●		○	・4月から11月まで、土・日・祝(荒天時除く)に嫁ヶ島のライトアップを実施した。 ・8月4日(日)に「歩いて渡る嫁ヶ島」、9月21日(土)に「嫁ヶ島万灯会」、10月5～20日までの土日祝に「湖上茶会」を実施。	・引き続き、嫁ヶ島のライトアップおよび関連イベントを支援する。	2,701千円	・4月から土日祝(荒天時除く)に嫁ヶ島ライトアップを実施している。 ・8月3日(日)に「歩いて渡る嫁ヶ島」、9月21日(土)に「嫁ヶ島万灯会」、10月11～26日までの土日祝に「湖上茶会」を実施。	3,000千円	観光振興課			
112	松江水燈路事業	松江の光の景観形成の方針である「光のマスタープラン」に基づき実施する「松江水燈路」を開催することで、城下町松江の夜の賑わいを創出し、滞在型観光客の増を図る。	観光部	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●			○	・9月28日(土)から10月20日(日)までの土・日・祝に開催。 ・市民の手作り行燈募集やワークショップ開催。 ・松江城周辺のライトアップ、市民の手作り行燈、堀川遊覧船夜間運航、屋台設置、松江城神楽実施、シャトルバス運行など。	実行委員会を早期に実施しプロモーションに時間と労力を割けるようにする。	22,000千円	・9月27日(土)から10月19日(日)までの土・日・祝に開催。 ・市民の手作り行燈募集やワークショップ開催。 ・松江城周辺のライトアップ、市民の手作り行燈、屋台設置、シャトルバス運行など予定。	22,000千円	観光振興課			
113	城下町AR・VR体験環境整備事業	国宝松江城を中心とした文化財の魅力を海外・国内観光客に紹介し体験滞在の満足度を向上させるため、AR(拡張現実)・VR(仮想現実)技術を活用したアプリケーションを提供する。	観光部	●	●	●	●	●	●	●	●					●		○	・アプリケーションの維持管理 ・アプリケーションの広報	アプリの認知度向上に向けて情報発信を行う。	1,045千円	・アプリケーションの維持管理 ・アプリケーションの広報	1,331千円	観光振興課			
114	潜戸観光遊覧船更新事業	(一社)加賀潜戸遊覧船が所有する船2艘の老朽化が進行し、新しいものでも30年が経過している状況にある。遊覧船更新により観覧受入環境を整え、ジオパークの推進に繋げるもの。	観光部			●	●						●		●			○	令和6年4月より発効した国土交通省の安全基準を踏まえた仕様により、遊覧船を入れし、造船業者を決定した。	令和6年度で事業終了	38,600千円	—	—	観光施設課			
115	潜戸観光遊覧船運営補助金	島根半島東部地域の景勝地である加賀潜戸を間近で観覧できる遊覧船の運行管理体制を整えることで、観光事業の振興発展を図る。	観光部		●	●	●	●	●	●	●		●			●		○	毎月計画通り補助金の支払を行っている。	近年の物価変動分を考慮し補助金を検討する	7,500千円	近年の物価変動分や運営事業者の収支状況をを考慮し、適切に補助金を交付する。	7,500千円	観光施設課			
116	小泉八雲旧居保存活用事業	旧居公開に向けた検討及び、保存活用計画策定準備を行う。	文化スポーツ部			●	●	●					●			●		○	令和6年6月3日交付決定により文化庁補助事業として保存活用計画策定事業を実施。 令和6年6月「史跡小泉八雲旧居保存活用計画策定委員会」を設置。委員5名に同年8月1日付け委嘱状交付。 10月4日(金)に第1回委員会を開催した。 2月4日(火)に第2回委員会を開催した。	・文化庁補助を受けて保存活用計画策定。 ※令和6年度から事業名変更「小泉八雲旧居保存活用計画策定事業費」	3,502千円	令和7年4月1日交付決定により文化庁補助事業として保存活用計画策定事業を実施。 8月26日(火)に第3回委員会開催予定 11月上旬に第4回委員会開催予定 令和8年3月印刷・刊行予定 引き続き、委員、文化庁等の意見・助言を受けながら計画策定を進める。	2,969千円	文化振興課			
117	美保関観光ビュッフェ保存活用事業	重要文化財に指定(令和4年2月)されたことを受け、保存活用計画を策定する。	文化スポーツ部			●										●		○	美保関灯台とあわせて施設の一部が重要文化財指定された(令和4年2月)ことに伴い、灯台の一般公開に向けた、課題の洗い出しや整理を進めた。 令和6年度保存活用計画案を作成した。国や県のスケジュールに合わせて案を提出した。	—	—	—	—	文化振興課			
118	SNS等による情報発信推進事業	多種多様な伝統文化芸術を誰もが興味を持てるように、文化・スポーツ関係イベントを約1分程度のニュース動画にわかりやすくまとめ、年間を通じてYouTubeやSNS等で発信する。	文化スポーツ部			●	●							●				○	3月末までに9本の動画を制作し、YouTubeに掲載した。それぞれの動画について今年度は、若者をターゲットにしたYouTube広告を出すことにより、これまで本市の伝統文化芸術に関心が薄かった若者世代に情報を伝えるができ、視聴回数的大幅な増加につながった。 【平均視聴回数(3月末時点)】 令和6年度制作動画・・・13,686回	令和5、6年度にさまざまな分野の文化イベント動画を制作した。これらを、より多くの方に見ていただき、松江の伝統文化芸術を知っていただくため、既存動画の周知を行う。	2,452千円	—	—	文化振興課			

No	事業名	事業概要	担当部局	事業年度										六つの取組の視点						進捗状況		実績	分析	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課
				第1期					第2期					知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	予定どおり進捗した	予定どおり進捗しなかった						
				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10																
119	松江の文化力次世代育成・継承事業	子どもとその保護者などに、松江の伝統文化芸術を知る、体験するなどの機会を継続して提供するとともに、地域の伝統行事に携わる団体を支援することで、七つの柱の共通課題である次世代育成や伝統文化芸術の継承を図る。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			○	【松江の文化力体験推進事業】 日本旅行Tis松江が運営し、予定した14講座すべてが完了した。参加者目標値もクリアし、興味関心の高さを感じた。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 申請件数：1件 地域に根づく伝統行事の保存・継承の途中公民館の連絡会で周知する等取り組んだ。	引き続き、子どもと保護者をメインターゲットとして市民に松江の文化力を知り、楽しみながら体験する機会を提供することで、松江の文化力への関心を高め、郷土愛の醸成を育み、担い手の確保や地域の伝統文化の継承を図る。 地域に根づく伝統行事の保存・継承の取り組みを支援し、伝統行事の継承を図る。	4,763千円	【松江の文化力体験推進事業】 9月以降7つの体験教室を予定している。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 申請件数：1件 引き続き事業の周知を行い、地域に根づく伝統行事の保存・継承の取り組みを支援する。	2,500千円	文化振興課		
120	小泉八雲旧居管理運営	小泉八雲旧居(国指定史跡)の管理運営を指定管理者に委託する。【指定管理者制度適用】	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・入館者数：43,313人	・小泉八雲の研究拠点として、小泉八雲記念館と合わせて施設のあり方を整理する必要がある。 ・施設の未公開部分の活用に向けた整理をする必要がある。	5,386千円	・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・入館者数：15,370人(6月末時点)前年比152.4%	5,045千円	文化振興課			
121	美保関観光ビュッフェ管理運営	美保関観光ビュッフェの維持管理を指定管理者に委託する。【指定管理者制度適用】 重要文化財に指定(令和4年2月)されたことを受け、保存活用計画を策定する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●					●	●	○	・R6年度からの指定管理を引き続き受けていただいた。 ・適正な管理運営を行っていたいている。	・美保関灯台の一般公開にむけて境海上保安部と連携し、検討公開を年2回実施予定。引き続き美保関観光ビュッフェと美保関灯台の活用について検討していく。 ・保存活用計画案を作成。国や県のスケジュールに合わせてR6年度中に案を提出した。	4,315千円	・6月7日、10月26日の年2回、灯台公開を実施予定。 ・指定管理者の高齢化の問題がある。今後も安定して施設を運営していくため、施設の活用方法を広げていく。	4,120千円	文化振興課		
122	武家屋敷保存活用事業	武家屋敷の管理に伴う修繕工事を行う。	文化スポーツ部		●		●							●	●	●		○	・適正な管理運営を行っていたいている。 ・R6年度の入館者数：69,377人	市の有形文化財(建造物)である建物の維持管理、補修等について、文化財担当課と連携しながら適切に対応していく。 ※令和6年度から事業名変更「武家屋敷管理運営」	2,068千円	—	—	文化振興課			
123	小泉八雲記念館管理運営	小泉八雲記念館の管理運営を指定管理者に委託する。【指定管理者制度適用】	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			○	・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・入館者数：91,535人	・小泉八雲の研究拠点として、小泉八雲旧居と合わせて施設のあり方を整理する必要がある。 ・2016年のリニューアルオープン以降8年が経過し、展示映像音響設備のオーバーホール等実施する必要がある。	27,742千円	・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・入館者数：27,949人(6月末時点)前年比123.4%	22,432千円	文化振興課			
124	佐陀神能用具等修理・新調事業	佐陀神能で使用している面、衣装、用具等の老朽化が激しいことから、佐陀神能保存会が行う、文化庁の補助金を活用した修理・新調事業の支援をする。	文化スポーツ部	●	●	●	●									●		○	今年度完成予定だった面3点について、復元新調が完了し、8月上旬に文化庁による現地指導を行い、事業が完了した。	令和6年度で事業終了	448千円	—	—	文化振興課			
125	文化力を生かしたまちづくり推進事業	「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		○	【審議会】 第1回審議会：9月26日開催 第2回審議会：3月26日開催 【松江の文化力を生かしたまちづくりに関するアンケート】 7月29日～8月31日実施 【松江市伝統文化芸術振興計画 第2期実施計画】 R7.3月策定	引き続き文化芸術振興事業の進捗管理を行うとともに、「文化力を生かしたまちづくり条例」や「松江市伝統文化芸術振興計画」の認知向上を図る。	223千円	【審議会】 第1回審議会：10月1日開催予定 第2回審議会：3月下旬頃開催予定 引き続き文化芸術振興事業の進捗管理を行うとともに、「文化力を生かしたまちづくり条例」や「松江市伝統文化芸術振興計画」の認知向上を図る。	623千円	文化振興課			
126	ジオパーク推進事業	地域の貴重な地質遺産や多様な生態系、伝統文化を次世代に守り、伝える活動を通じて、ふるさとの誇りや愛着を高め、人材育成を促進するとともに、観光や産業などの地域振興に繋げる。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	こども向けの体験イベントや、定時ガイドによるツアーや清掃活動等、様々な活動により目標値に近い入込客数があった。	研修会やツアー、イベント等幅広い世代の方に興味をもってもらえるような事業を計画する。	10,935千円	8月からジオパークに関するツアーや子ども向けイベントを実施予定であり、入込客数を増加するため、積極的に広報を行い着実に業務を進めていきたい。	11,492千円	ジオパーク推進室				
127	重文木造薬師如来坐像外4躯収蔵施設(佛谷寺)修理事業補助金	所有者が実施する国指定重要文化財木造仏像を収蔵する施設の修理に対して国・県とともに市として補助金を交付する。	文化スポーツ部			●	●								●	●	○	補助金交付決定、事業実施済み。 補助金精算に向けて事務手続き中。	令和6年度で事業終了。	633千円	—	—	文化財課				
128	県指定雁皮紙用具修理事業補助金	保持者が実施する資をはじめてした紙漉き用具の修理に対する県補助事業の随伴補助。	文化スポーツ部		●	●	●								●		○	令和5年度と同様に実施。	令和6年度で事業終了。	79千円	—	—	文化財課				
129	史跡松江城史跡等取得事業	城山地内の民有地の買上げに要する経費。	文化スポーツ部		●	●	●								●		○	3件の用地取得へ向け、それぞれの所有者と売買契約を締結した。	引き続き用地取得の条件が整った相手に対して交渉を行う。	207,730千円	—	—	文化財課				

No	事業名	事業概要	担当部局	事業年度										六つの取組の視点					進捗状況		実績	分析	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課
				第1期					第2期					予定どおり 進捗した	予定どおり 進捗しなかった											
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	育 て る	伝 え る			創 造 す る	活 用 す る	支 え る								
130	重文木幡家住宅保存修理(第2期)事業補助金	所有者が実施する重文木幡家住宅主屋ほか9棟の保存修理に対する国補助事業の随伴補助。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●			●			○		・R5年度と同様に実施。補助金交付済み。R6年度は主屋の解体等を実施した。	引き続き、保存修理事業を滞りなく進めていく。	7,200千円	・補助金交付決定済み。 ・事業実施中。	10,054千円	文化財課		
131	重文木幡家住宅防災施設整備事業補助金	R4:所有者が実施する重文木幡家住宅新蔵ほか2棟の自動火災報知設備整備に対する国補助事業の随伴補助。 R5:木幡家住宅全体の総合的な防災設備に係る文化庁現地指導旅費に対する市補助	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●			●			○		補助金交付済み。R6年度は防災設備の基本設計を実施した。	木幡家住宅全体の防災設備を進めていくため、所有者が実施する事業の手続き等を円滑に進めていく。	1,980千円	令和6年度と同様に補助を実施予定。	163千円	文化財課		
132	わがまち自慢発掘プロジェクト事業	公民館区毎に作成した地域の“お宝”を記載した「まち歩きマップ」を、地域活動に活用できるように、残数が少ない地区のマップを更新・増刷する。また、マップを活用したまち歩きを開催する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・R6年度は、3地区で「まち歩きマップ」の増刷に係る補助を実施した。 ・また、5地区で「歴史のまち歩き」を開催し、応募者総数242名、参加者総数103名であった。	・市内の各公民館の要望調査に応じて「まち歩きマップ」の増刷補助および「歴史のまち歩き」の実施を検討する。 幅広い年代の参加につながる企画を考え、新規参加者を獲得する。 ・公民館と連携し各地域主体のまち歩きへの移行を支援する。	1,023千円	・3地区で「まち歩きマップの増刷」「まち歩き案内版の修繕」に係る補助を実施中。 ・また、7地区で「歴史のまち歩き」を開催予定。7回のうち、6月末までに5回を終了した。	1,104千円	文化財課		
133	国有文化財管理	国有文化財(名勝天然記念物)の毀損・滅失及び不法占拠を防止するため、国庫補助事業を活用して見廻り監視を行う。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●			●			○		令和5年度と同様に実施。	令和6年度と同様に実施	370千円	令和6年度と同様に実施。	375千円	文化財課		
134	史跡及び名勝菅田庵維持管理	史跡及び名勝菅田庵の維持管理を行う。維持管理に要した実費の一部は所有者が負担し、また県から指定面積に応じて定額の補助金が支給される。なお、既指定地については、従来どおり所有者が維持管理を行う。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●	○		令和5年度と同様に、管理団体として追加指定地の維持管理を実施している。	引き続き史跡名勝地の維持管理を実施する。	4,139千円	令和6年度と同様に、管理団体として追加指定地の維持管理を実施している。	4,404千円	文化財課		
135	史跡松江藩主松平家墓所整備事業補助金	史跡松江藩主松平家墓所について、文化財の本質的価値を将来にわたって望ましい形で保存し、公開活用する目的で、所有者が実施する保存修理事業に対して、国・県とともに市として補助を行う。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●			●		●	○		令和6年3月に開催した整備検討委員会で決した事業計画に基づき、参道修復工事、支障木伐採工事(御霊屋南側)、水路修復改良工事(初代廟所)、危険木伐採工事(五代廟所南側・七代廟所北側)、初代廟門土塼保存修理工事を実施。	整備基本計画に則って事業が進められるよう、所有者を支援していく。 事業に必要な補助金を確保するため、引き続き国・県に対して要望していく。	8,309千円	令和7年3月に開催した整備検討委員会で決した事業計画に基づき進行中。	12,897千円	文化財課		
136	史跡等維持管理	松江市が所有する史跡や重要遺跡の維持管理を行う。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●			●		●	○		令和5年度と同様に、史跡等の除草、トイレ清掃などを実施。	令和6年度と同様に実施	12,794千円	松江市が所有する史跡や重要遺跡の維持管理を行う。 令和6年度と同様に実施。	11,470千円	文化財課		
137	指定文化財維持管理補助金	指定文化財の管理については、所有者等に様々な法的規制を課して適正な管理をすることとしており、これを円滑に実施するために、所有者等が行う管理上の経費について助成し、文化財の適正な管理を行う。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●			●		●	○		令和5年度と同様に、防災設備点検、環境整備等に対する補助を実施。	令和6年度と同様に実施	882千円	令和6年度と同様に、防災設備点検、環境整備等に対する補助を実施予定。	1,202千円	文化財課		
138	鹿島歴史民俗資料館管理運営	鹿島歴史民俗資料館の管理・運営及び発掘調査に伴う出土品の特別展示や佐太神社を中心とした由緒ある文化財のほか、佐陀神能に関する資料、増田渉と魯迅関連資料等の保存・伝承や有効活用を図る。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○		特別展『海と湖に生きた人々ー登録有形民俗文化財「島根半島沿岸及び宍道湖・中海の漁撈用具」登録記念ー』(10/5～)を実施。	令和6年度と同様に実施	12,739千円	特別展「島根半島の考古学展」(令和7年10月12日～令和8年1月18日)を開催予定。	12,997千円	文化財課		
139	出雲玉作資料館管理運営	全国唯一の玉作り資料館として、「古代の玉作り」を柱に、「近代めのう細工」、「布志名焼の歴史」等の常設展示を行うとともに、企画展等を開催する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○		春季企画展「庶民の布志名焼・舟木窯生活用品をつくる」、秋季企画展「松江藩の焼き物～茶道具から雑器まで～」を開催。	令和6年度と同様に実施	12,445千円	春季企画展「海を越えた布志名焼～瀬松木窯180年の歴史～」(令和7年4月8日～5月18日)を開催。 夏季ミニ企画展として、「むかし、玉湯は海だった～来待層と布志名層の化石～」(令和7年7月29日～8月24日)を開催予定。	13,958千円	文化財課		
140	松江市歴史文化まちづくり計画推進	松江市歴史的風致維持向上計画(歴史まちづくり計画)[計画期間:令和2年度～令和11年度]の進捗管理を行う。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○		2月 第1回歴まち協議会(予定)	・業務量削減の観点から、年に1回協議会を開催	312千円	令和8年1月～2月頃に開催予定の第1回歴まち協議会に向けて準備中。	48千円	文化財課		
141	全国街道交流会議	地域独自の自然、歴史、文化を生かしたまちづくり、みちづくりを議論し、街道を共通軸とした連携・交流を行うNPO全国街道交流会議へ所属し年会費を負担する。	都市整備部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○		・6/11 街道交流首長会総会(市長は議会開会日のため欠席)で幹事就任。 ・7月令和6年度年会費の負担 ・7月 第52回「日本橋」橋洗い「街道・名水あわせ」に園城5市が名水を提供。本市は朝酌の「目無水」を提供。 ・11～12月 日本橋「日本百街道」展に「松江祭行列」のパネル展示	・街道交流会議の一員として全国の街道を通じた地域振興について情報が得られた。 ・日本橋での「名水あわせ」や「日本百街道」展への情報提供により松江市の歴史や文化についてアピールできた。	50千円	・7/16 街道交流首長会において副会長就任(予定)。 ・8月 令和7年度年会費の負担 ・時期未定 全国街道交流会議と協働で「(仮)小泉八雲とセツの物語で巡る山陰」ガイドブック作成(観光振興課内室が調整中) ・11月 全国街道交流会議第14回全国大会三島大会への参加(予定) ・1月 第13回全国大会山陰大会(R5開催)のフォローアップ ・事業として中海・宍道湖8の字ルートシンポジウムを共催	208千円	大橋川治水・国県事業推進課		

No	事業名	事業概要	担当部局	事業年度										六つの取組の視点						進捗状況		実績	分析	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課
				第1期					第2期					知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	予定どおり進捗した	予定どおり進捗しなかった						
				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10																
142	伝統的建造物群保存地区検討事業	美保関町美保関の美保神社周辺に残る歴史的なまちなみの保存・活用を通して、生活環境や景観の向上を図り、生活や生業、伝統行事等を後世へ継承する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・4月 調査報告書配布(地元住民、美保関支所、関係団体等) ●住民組織「美保関まちなみ研究会」 ・5/12,6/17,7/29,11/6,3/12 ●勉強会「美保関まちなみ塾」 ・5/12,6/9,7/21 ●「mihonoseki伝建だより」 ・5月、6月,8月,10月,1月発行 ●住民先進地視察 ・6月:岡山県津山市、9月呉・竹原市 ●7/10～7/12文化庁主催「伝統的建造物群保護行政研修会(基礎コース)」参加、長崎県開催 ●庁内連携 ・5/27～5/31:各会派説明(事業概要と今後の展開) ・6/26 主管課長会で概要説明 ●住民説明会:8月、10月、11月 ●保存条例制定:12月 ●保存審議会:2月 ●文化庁協議:随時	・保存活用計画案作成 ・伝建選定に向けた文化庁協議 ・住民説明 ・技術者勉強会 ・観光ガイド育成講座の開催 ・技術者向け説明会	1,078千円	●おかえりカフェ・住宅よろず相談会(4/18、6/20) ●美保関中学校ふるさと学習(4/24、4/28、5/12、5/22、6/16、7/10) ●住民説明会5/19(屋外広告物条例改正) ●同志社大学調査(5/17) ●文化庁研修への参加(茨城県桜川市・5/28～30) ●まちなみ研究会(6/19、7/23) ●美保関まちなみガイド養成講座(6/14、7/5) ●文化庁協議(6/19) ●島根大学観光演習レクチャー(6/21) ●保存審議会 7/15 ●技術者育成講座の開催(7/16) ●松江市文化財保護審議会報告(7/29)	2,232千円	文化財課		
143	文化財収蔵施設維持管理	文化財収蔵施設として活用する穴道菟古館及び島根歴史民俗資料館及び八雲郷土文化保存伝習施設の維持管理を行う。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		令和5年度と同様に実施。	・令和6年度と同様に実施 ・PCB廃棄物処理予定(穴道菟古館)	1,163千円	・令和6年度と同様に実施。 ・穴道菟古館において、高圧電源低圧化切替工事及びPCB廃棄物処理を実施予定。	3,419千円	文化財課			
144	歴史的建造物保全継承事業	歴史的なまちなみを形成している古い建造物(歴史的建造物)の滅失を防ぐために、所有者との協働により保全継承し活用することで、歴史的資源を生かしたまちづくりを進める。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		令和6年11月開催予定の歴史的建造物保全活用審議会にて、登録候補3件を諮問した。審議会での答申を受け、3件を登録した。 また、登録物件のうち、2件の修繕に対し補助を実施した。	活用イベントやツアー等を通して歴史的建造物保全継承事業の周知を行い、保全、活用の理解を促進する。 建造物所有者からの申請に基づき、調査・登録を進める。	939千円	申請のあった1棟について2次調査(詳細調査)を実施中。 また、登録物件の1件について修繕補助を実施中。	14,267千円	文化財課			
145	AR・VR推進事業	田和山史跡公園において、ARコンテンツ(田和山山頂から見た古景観の復元)の実装及び田和山遺跡のVRデータ作成を行う。	文化スポーツ部				●	●	●	●	●		●		●		○		田和山山頂から見た古景観の復元データ作成のために3回の作業部会と2回の検討会を実施。3月に地元ボランティア団体の意見会を実施した。	委託事業について有識者との話し合いや同志社大学との打ち合わせを重ねたうえで実施した。	3,613千円	5月に検討会を実施した。田和山山頂から見た古景観の復元データは概ね完成したため、9～10月に地元ボランティア団体向けにお披露目会を実施する予定。	3,164千円	埋蔵文化財調査課			
146	鏡田遺跡発掘調査事業(受託事業)	民間事業者からの受託を受け、鏡田遺跡(大庭町)の発掘調査を行うもの。なお、文化財保護法第93条および第99条の規定に基づく、記録保存のための措置。	文化スポーツ部				●	●	●					●			○		事業延期	発掘調査報告書作成予定。	671千円	事業延期	672千円	埋蔵文化財調査課			
147	宮田古墳群発掘調査事業(受託事業)	民間事業者からの受託を受け、宮田古墳群(西川津町)の発掘調査を行うもの。なお、文化財保護法第93条および第99条の規定に基づく、記録保存のための措置。	文化スポーツ部				●	●	●					●			○		事業延期	発掘調査報告書作成予定。	1,112千円	発掘調査報告書作成予定	873千円	埋蔵文化財調査課			
148	史跡田和山・神後田遺跡史跡等取得事業	史跡田和山・神後田(じごで)遺跡の史跡指定地の公有地化を実施する。	文化スポーツ部		●	●	●							●			○		今年度購入予定だった土地については取得済み	令和6年度で事業終了	20,465千円	—	—	埋蔵文化財調査課			
149	埋蔵文化財本調査事務	公益財団法人松江市スポーツ・文化振興財団に委託していた発掘調査(本調査)について、松江市直営で実施する体制を整備するもの。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●		●				○		発掘調査業務、加賀事務所修繕を実施した。	事業の実施に際して、体制の強化と作業の効率化を図る。	47,230千円	実施中	70,671千円	埋蔵文化財調査課			
150	史跡出雲国分寺跡整備事業(単独事業)	八雲立つ風土記の丘を松江市の南の歴史・文化・観光の拠点とするため、史跡出雲国分寺跡の整備を行う。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			○		工事立会に際し、国分寺に関わる遺構が検出されたため調査指導委員会を開催した。	史跡の追加指定に向けての協議を継続する。 調査指導委員会を開催する。	118千円	現在のところ、国分寺周辺において特に工事等の計画はないが、計画が発生次第、調査および指導委員会を開催し、対応する。	149千円	埋蔵文化財調査課			
151	史跡田和山遺跡公園管理運営	史跡田和山遺跡公園の維持管理を行うとともに、史跡公園の活用を図る。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・田和山史跡公園の除草作業について、委託業者を確保し、7月、10月に実施。3回目を1月末から3月末までに実施予定。 ・神後田遺跡の除草作業についてはシルバー人材センターに委託し、年3回実施。 ・両遺跡とも委託期間の間には、職員直営の除草作業を実施。 ・神後田遺跡では竹木伐採搬出業務委託を11～12月に実施。 ・平成19年以来、田和山史跡公園自然学習の森で使用してきた仮設プレハブを老朽化のため解体撤去した。 ・田和山では地域団体である田和山サポートクラブを支援し活用を図った。	・田和山史跡公園ならびに神後田遺跡の適正な管理(除草作業)を引き続き行っていく。(田和山では葛やニセアカシアなどの生育の強い植物の駆除を積極的に取り組んでいく) ・田和山史跡公園の活用に関しては、令和6年度に終了する予定だった田和山サポートクラブへの補助金を再度実施することを検討(財政課との協議による)。	8,754千円	・田和山史跡公園の除草作業について、全体を3分割し、6月時点で1か所目を業務委託で実施中。また園内に繁茂する葛に対しては別途駆除のための業務委託も実施。 ・除草の業務委託と並行して、職員直営による除草作業も合間を実施。 ・神後田遺跡の除草作業についてはシルバー人材センターに委託し、6月に1回目を実施。年3回実施予定。 ・田和山史跡公園の活用にあたり、地域団体である田和山サポートクラブを支援し取組を進めている。	4,919千円	埋蔵文化財調査課			

No	事業名	事業概要	担当部局	事業年度										六つの取組の視点					進捗状況		実績	分析	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課	
				第1期					第2期					知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	予定どおり進捗した							予定どおり進捗しなかった
				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10																
152	重要遺跡活用促進事業	令和3年に出雲国分寺跡が国史跡指定100周年、田和山遺跡が国史跡指定20周年を迎え、令和4年に出雲玉作跡国史跡指定100周年を迎える。いずれも史跡として節目の年を迎えるにあたり、「松江の文化財百年の歴史とこれから」をテーマとした連続講座事業を開催する。	文化スポーツ部	●	●			●	●	●	●	●	●	●				○		大庭鶏塚古墳・山代二子塚古墳が史跡指定100周年を迎え、同じく史跡指定100周年を迎える古墳がある出雲市と鳥根県と合同で活用に関するイベントを企画し、それらのイベントがすべて終了した。	八幡鹿島山古墳の調査成果を発表する講演会や市内での発掘調査で出土した遺物の展示などを実施する。	291千円	・八幡鹿島山古墳の発掘調査成果について、10月18日に講演会を実施予定。現在、広報準備中。 ・鳥取県青谷かみじち史跡公園で10月末に実施されるイベントに出展予定。現在準備中。	347千円	埋蔵文化財調査課		
153	石垣修理事業	崩落の危険性が高い石垣の修理を年次的に行い、石垣の保全を図る。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			○		史跡松江城整備基本計画策定委員会を立ち上げ、2月に第1回検討委員会を開催予定。	R7年度末に整備基本計画を策定し、計画に従って石垣修理事業を再開する。	188千円	・石垣の変異観測を実施。 ・令和8年2月に松江城整備検討委員会を実施予定。	318千円	埋蔵文化財調査課		
154	田和山史跡公園再整備事業	国史跡指定20周年を迎えた田和山遺跡について、追加指定となった神後田遺跡をはじめとする周辺の松江市南郊の遺跡群との関連性などの新たな知見を基に分かりやすく紹介するとともに来訪者が安全に見学できるように史跡公園の再整備を実施するもの。復元掘立柱建物の改修や手摺、木橋などの公園施設の改修を行う。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			○		公園内の木橋(4橋)の改修、撤去した竪穴建物の遺構平面表示等について3月に現地工事完了予定。	・復元掘立柱建物の改修工事等、年次計画に従って実施。 ・景観支障木の継続的な伐採。	54,462千円	・公園内の木橋(2橋)、手摺り(16か所)、復元掘立柱建物の茅葺きの改修工事を実施予定。木橋、手摺りの改修工事は入札不落により業務に遅れが発生しているが、9月末契約予定。復元掘立柱建物の拵取工事は9月に契約予定。 ・公園内のトイレの新築にかかる設計業務を実施中。9月中旬までに基本設計を多ない、平面図、外観図等を作成。9月中旬から12月まで実施設計を行い、工事計画、費用を算出する予定。	72,830千円	埋蔵文化財調査課		
155	埋蔵文化財遺物整理事業	発掘調査により出土した遺物の整理・保管を行う。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			○		・恵曇収蔵施設(旧恵曇公民館)について、以下の業務を行った。 ・施設の本格稼働にあたり、維持管理のため火災報知に係る機械警備委託を5月から開始した。 ・上下水道開通にあたり、水道口径の減径工事を行い、ランニングコスト節減を図った。 ・東出雲収蔵庫の3月中の解体に向け、庫内の整理などを実施。	・八雲収蔵庫について、収蔵遺物を旧恵曇公民館へ搬送後、解体撤去する予定。底地に関しては、所管課の農政課へ返還する予定。 ・東出雲収蔵庫の底地については、隣接する東出雲幼稚園への移譲を目指し、保育所幼稚園課との協議を検討中。 ・恵曇収蔵施設について、消防法で規定される消防設備の配備義務の緩和のため、施設の使用面積の削減を検討中。	6,990千円	・恵曇収蔵施設(旧恵曇公民館)について、火災報知に係る機械警備委託を実施中。 ・八雲収蔵庫の3月中の解体に向け、事前のアスベスト検査を実施、問題がないことを確認した。	8,285千円	埋蔵文化財調査課		
156	埋蔵文化財分布試掘調査事業	遺跡の有無や範囲を確認するための試掘調査を行うとともに、重要遺跡の内容確認を行う。また埋蔵文化財の調査で出土した脆弱遺物について保護、活用のため保存処理を行う。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			○		・試掘37件、分布調査61件実施。(令和7年1月末時点) ・山代郷南新造院跡報告書を作成した。 ・大庭小原遺跡、乃木西廻遺跡報告書を作成した。 ・遺物の保存処理は9月に引渡し、3月に処理完了し、引き取った。 ・八幡鹿島山古墳発掘調査を実施した。	引き続き開発等に伴う試掘・分布調査を実施する。	19,848千円	・開発等に伴う試掘・分布調査を継続して実施中。 ・個人住宅の建設に伴う本調査業務を1件、実施した。また今後さらに1件実施予定。 ・遺物の保存処理は契約準備中。 ・八幡鹿島山古墳発掘調査を実施。発掘調査報告書作成予定。	15,408千円	埋蔵文化財調査課		
157	松江城伐採木有効活用事業	令和4年度に天守への延焼防止を目的に伐採した木の有効活用を図る。	文化スポーツ部			●	●	●							●			○		・伐採木を利用した書架(本棚)を60台製作して市内小中学校の図書室に贈呈したほか、積木を120セット製作して市内の保育施設に贈呈した。	・松江城伐採木を利用することにより、松江城を身近に感じて貰うことが出来るため、子供たちに松江城に対する関心や理解が深まることが期待できる。	4,769千円	令和7年度は有効木を利用した松江城バッチなどの製作を進めている。	2,323千円	松江城・史料調査課		
158	松江市文化財保存活用地域計画推進事業	「松江市文化財保存活用地域計画」の推進を図る。松江市文化財保存活用地域計画協議会の開催、「松江のヒストリー集」のWEB公開などを行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○		「松江市文化財保存活用地域計画ヒストリー集」として「松江の水をめぐるヒストリー」を作成、公開済み。	・調査研究の成果を市民や観光客などに還元する。 ・調査研究から活用まで、「ヒストリー」に沿った総合的な取組みを行う。	5,117千円	「松江市文化財保存活用地域計画ヒストリー集」として「出雲国風土記をめぐるヒストリー」を作成中。	5,473千円	松江城・史料調査課		
159	国宝松江城天守防災施設等整備事業	松江城天守の防火設備は、平成2年度までに整備・改修したもので老朽化が進んでいることから、全面的な更新を行う。	文化スポーツ部	●	●	●	●							●				○		・天守各階スプリンクラーの設置 ・放水銃および屋外消火栓の設置 ・ポンプ室付消火水槽の設置 ・煙感知器、炎感知器、監視カメラの設置 ・自動火災通報設備の設置 ・垂直降下式救助袋の設置 ・防煙垂れ壁の設置	国宝松江城天守や史跡松江城の文化財価値が損なわれないよう、文化庁とも協議を行い、計画的に工事を進めた。	241,278千円	—	—	松江城・史料調査課		
160	地域の文化財調査・発信事業	「松江市文化財保存活用地域計画」に基づき、公民館単位での文化財調査を公民館、地域住民と共に行之い、その成果を刊行物などを通じて発信する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				○		・「文化財保存活用地域計画」に基づき松江地域の古文書所在確認調査を遂行している。調査成果は講座や刊行物などで発信。 ・HPやX(旧:Twitter)で歴史情報を随時発信しており、「松江市歴史叢書」「松江市歴史史料集」などの刊行物も発刊。	・公民館と密に連携をとりながら、地域の特性に即した効果的な調査手法を確立する必要がある。また、限られた人員で効率的に調査を遂行するため、調査体制の見直しが必要。 ・講座や座談会など、調査成果を地域に還元するための取組みが必要。	10,056千円	「文化財保存活用地域計画」に基づき松江地域の古文書所在確認調査を遂行している。今年度から東出雲公民館管区に着手。 ・HPやX(旧:Twitter)で歴史情報を随時発信しており、「松江市歴史叢書」などの刊行物も編集集中。	10,732千円	松江城・史料調査課		
161	文化財情報デジタル化推進事業	「松江市文化財保存活用地域計画」に基づき、文化財情報のデジタル化を推進し、市民をはじめとするより多くの人に松江の文化財の魅力を伝えとと共に、文化財行政におけるデジタル人材の育成も図る。具体的には、連携協定を結ぶ同志社大学文化遺産情報科学調査研究センターとの共同研究により松江城天守VRソフトの作成等を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			○		指定文化財情報のデジタル化とデータベースへの入力完了。	松江城にとどまらない様々な文化財でのデジタル活用を進めていく。 中でも松江市の各部署・施設が所管する文化財情報のアーカイブ化を図っていく。	2,298千円	文書館収蔵資料の目録整備とデータベースへの反映を実施中。	2,010千円	松江城・史料調査課		
162	国宝松江城調査研究事業	調査研究を通じて、松江城の学術的価値を高めるとともに、その成果を各種出版物の刊行などを通じて積極的に情報発信を行う。松本市、犬山市と共に、近世城郭天守群の世界文化遺産登録を目指して共同研究を進める。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			○		・6月30日に松江城調査研究委員会を開催。 ・松江城調査研究委員会委員による個別調査を行った。 ・『松江城研究6』『松江城ブックレット8』を発刊した。	・国際会議の松江開催、外国語媒体の書刊行、海外専門家との共同研究などを通じて、調査研究に国際的な視点を取り込む。 ・基礎研究を継続的に実施し、その成果を広く発信し、観光など市政全般にも反映させる。 ・講座の開催など啓発活動に取り組む。	12,652千円	・国際会議の松江開催、外国語媒体の書刊行、海外専門家との共同研究などを通じて、調査研究に国際的な視点を取り込む。 ・基礎研究を継続的に実施し、その成果を広く発信し、観光など市政全般にも反映させる。 ・講座の開催など啓発活動に取り組む。	14,068千円	松江城・史料調査課		

No	事業名	事業概要	担当部局	事業年度										六つの取組の視点					進捗状況		実績	分析	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課	
				第1期					第2期					知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	予定どおり進捗した							予定どおり進捗しなかった
				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10																
163	松江城・城山公園整備	城山公園の便益施設の更新や、公園の環境整備を行い、文化財・都市公園としての魅力向上を図る。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●			●		●		○		二之丸井戸屋形柵葺えを実施	・史跡として相応しい整備、来場者の安全確保に取り組む必要がある。	18,472千円	・二之丸上ノ段トイレ鏡改修工事の設計を実施中 ・多門櫓空調設備設置工事の設計を実施中 ・搦手之虎口トイレ改修工事の設計を実施中 ・令和6年度松江城・塩見縄手樹木危険度診断の結果に基づき、危険木の伐採を実施中	18,662千円	松江城・史料調査課		
164	文化財関係書籍製作	松江の歴史・文化についてわかりやすく紹介する「松江市ふるさと文庫」の制作を行う。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●				○		『松江市ふるさと文庫36』『松江市ふるさと文庫37』の編集・校正中	・ふるさと文庫も33号を重ね、シリーズとしては大きなものとなってきた。テーマ選びや書籍の体裁など、現在の文化財を取り巻く情勢に合わせて少しずつ見直すことも検討する。	1,513千円	『松江市ふるさと文庫38』の原稿執筆中	1,513千円	松江城・史料調査課		
165	松江城・城山公園管理運営	国宝松江城天守を含む城山公園の維持管理・運営、活用を行う。【指定管理者制度適用】	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●		○		・城山公園の管理 ・城山公園道路支障木剪定・伐採 ・ナラタケモドキ病対策薬剤防除 ・本丸サクラ樹勢回復 ・城山公園内案内看板修繕	・緊急的な修理に対応できるような予算確保の必要がある。	25,526千円	・ナラタケモドキ病対策薬剤防除を実施 ・本坂東側(二之丸下ノ段)石垣照明修繕を実施 ・天守脱落瓦修繕を実施	4,698千円	松江城・史料調査課		
166	興雲閣管理運営	県指定文化財である興雲閣の維持管理・運営、活用を行う。【指定管理制度適用】	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●		○		・興雲閣の管理 ・興雲閣の破損調査	・緊急的な修理に対応できるような予算確保の必要がある。	933千円	・興雲閣の管理、施設の修繕	660千円	松江城・史料調査課		
167	松江歴史館管理運営	松江の歴史及び文化に関する資料の収集、保存、調査研究、展示とともに学習活動の場を提供する松江歴史館の管理運営を行う。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	○		・松江歴史館の入館者数は145,149人、観覧者数は49,449人だった。 ・学芸員による松江の歴史や美術に関する講座「松江おもしろ談義」を12回行った。 ・市立小学6年生に対して松江城と松江歴史館等を案内する「松江城授業プロジェクト」を34校行った。 ・松江市内の歴史に興味がある小学5・6年生を対象に、松江城や歴史館の裏側を見学する「めざせ！お城マスター！」を4回行った。 ・名誉館長講座を12回行った。 ・松江歴史館ニュースレター「MATSUREKI」を2回刊行した。	・入館者に比べて、観覧者は約3分の1にとどまっている。観覧につなげるイベントなどを検討する必要がある。 ・初めての来館者が多い。何度も利用してもらえるような取組みが必要である。 ・松江おもしろ談義などの講座について、参加者は比較的年齢層が高い。幅広い世代の方に参加してもらえるような広報等が必要である。 ・松江城授業プロジェクトなど、小学生の学習機会の提供には寄与できているが、中学生以上の学生に対しての取組みができていない。	111,090千円	・松江歴史館の入館者数は36,559人、観覧者数は11,564人だった。 ・学芸員による松江の歴史や美術に関する講座「松江おもしろ談義」を2回行った。 ・市立小学6年生に対して松江城と松江歴史館等を案内する「松江城授業プロジェクト」を4校行った。 ・名誉館長講座を3回行った。 ・博物館の持続的な運営を続けていくために、市民に親しまれる博物館を目指す。 ・多くの方に松江歴史館を周知し何度も利用してもらえるように、SNSなどを活用した効果的な広報や、関心を抱くイベント、分かりやすい展示を行う。	94,449千円	松江歴史館		
168	松江歴史館資料取得事業	松江の歴史や文化に関わる財産を後世に引き継ぐため、貴重な資料は購入などによって取得するとともに、収蔵環境を良好に保ち、資料を適切に保管し活用する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●		○		・資料の寄贈・寄託・購入を行った。(寄贈資料13件、寄託資料7件、購入2件)	・貴重な資料でも予算に限りがあり購入できないケースもある。 ・購入のための基金は減っていく一方であるため、財源を確保していく必要がある。	973千円	・松江の歴史や文化に関わる財産を後世に引き継ぐため、貴重な資料は購入などによって取得する。 ・資料を効果的に活用するため、収蔵品データベースに情報を登録し、必要なものは公開していく。	2,633千円	松江歴史館		
169	松江歴史館調査・研究事業	魅力ある展覧会とするため、翌年度以降に開催する展覧会の調査研究を行い、その成果を研究紀要や講演会で広く伝える。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●				○		・『松江歴史館研究紀要 第13号』の製作を行った。 ・来年度の企画展示の作品調査を行った。	・展示開催までに、十分な調査・研究の期間や費用の確保が必要である。	802千円	・『松江歴史館研究紀要 第14号』の製作を行っている。 ・来年度の企画展示の作品調査を行っている。 ・展示開催に向けて計画的に調査・研究を行い、松江の魅力を掘り起こしていく。 ・資料の借用交渉を早めに行い、展示資料を確保する。 ・調査・研究の成果は、展覧会の開催や図録の作成、研究紀要の発行などを通してより多くの人に伝える。	846千円	松江歴史館		
170	松江歴史館展示企画事業	松江の歴史や文化を市民や観光客に知っていただくため、松江に深く関わりのあるテーマを題材とした展覧会を開催する。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●		○		4つの展覧会を実施した。 ①企画展「神々の美術―出雲の神像と神宝」 ②企画展「松江体育協会創立100周年記念 松江のスポーツ今昔」 ③特別展「月照寺と松平家の宝」 ④館蔵品展「松江藩を支えた家老 大橋茂右衛門」	・県外からの観覧者が増えてきたこともあり、江戸時代を中心とした松江の歴史について展示している基本展示のみの観覧者の割合が高い。県外の人にも企画展を観覧してもらえるような広報・周知等が必要である。	17,290千円	1つの展覧会を実施した。 ①企画展「松江の名工 小林如泥」 ・市民や観光客に関心を持ってもらえるように、調査・研究の成果をわかりやすく展示をしていく。 ・公開承認施設の利点を活かして、国宝・重要文化財をはじめとする貴重な資料を展示し、歴史や文化に対する関心を高めていく。 ・近年増加している外国人観覧者にも対応した展示を行っていく。	16,357千円	松江歴史館		
171	松江ホーランエンヤ伝承館管理運営	水都松江市が誇るホーランエンヤを保存伝承し、その素晴らしさを広く伝える松江ホーランエンヤ伝承館の管理運営を行う。	文化スポーツ部	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●				○		・松江ホーランエンヤ伝承館の入館者数は7,060人だった。	・次回のホーランエンヤ開催に向けて、機運を高める取組みも必要である。市内の学校へ伝承館の観覧を促すなど、長期的に計画を立て取組む。	5,547千円	・松江ホーランエンヤ伝承館の入館者数は1,541人だった。 ・次回のホーランエンヤ開催に向けて、8月5日から多目的ホールで展示「權伝馬船を彩る巨大な飾り」を開催するなど、機運を高めるような取組みを計画的に行う。 ・松江歴史館からの誘導入館者数を増やすため、松江歴史館で効果的な広報を行う。	5,971千円	松江歴史館		
172	ふるさと教育推進事業	地域住民の学校教育への参画や、自主的な学習活動、社会参加活動促進等、学校と家庭、地域が一体となった体系的な教育活動を推進することを目的とし、学社連携・融合による「ふるさと教育」を市内各小・中・義務教育学校で実施する。	教育委員会	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●				○		・令和6年7月31日、各学園(中学校区)、各学校へ交付金の配布完了。令和6年度市内全小・中・義務教育学校において事業実施。	各活動のねらいや学園(中学校校区)ごとの系統性、質の向上を図ること等について、再確認していく。	4,030千円	・令和7年8月1日、各学園(中学校区)、各学校へ交付金の配布予定。昨年度、再確認した各活動のねらいや学園(中学校校区)ごとの系統性をもとに、市内全小・中・義務教育学校において実施予定。	4,030千円	学校教育課		
173	「ふるさと松江」学習推進事業	小学校3・4年生の社会科で行うことになっている地域学習において活用する副読本「わたしたちの松江」のデータ化を行い、児童がタブレットを活用して見ることができるようにする。そこにリンク先を添付することで学びを広げたり、音や映像で学びを深めたりする。	教育委員会	●	●	●	●						●	●				○		・各校の教育課程に従って、順調に活用されている。	リンク先を添付したり、音や映像を流したりするための時間や予算の確保が必要。	66千円	—	—	学校教育課		
174	総合的・体験的な学習充実事業	「ふるさと松江」の生活・産業、自然環境や歴史文化について、体験を通して総合的に学ぶ学習を充実することで、「ふるさと松江」に誇りと愛着をもつ人材を育成する。そのために、各小・中・義務教育学校で校区や地域の特色を活かした総合的・体験的な学習を実施する。	教育委員会	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●				○		各校の計画に沿って、順調に実施されている。	物価高騰による消耗品等が今後も値上がりする可能性がある。保護者負担への対応を検討する必要がある。	1,621千円	各校の計画に沿って、順調に実施されている。	1,621千円	学校教育課		

No	事業名	事業概要	担当部局	事業年度										六つの取組の視点						進捗状況		実績	分析	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課
				第1期					第2期					知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	予定どおり進捗した	予定どおり進捗しなかった						
				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10																
175	大口町交流事業 (～R6歴史が結ぶサマースクール事業)	市内の小学校と義務教育学校の6年生(希望者)を対象に、「堀尾吉晴公」生誕の地である愛知県大口町(姉妹都市)を訪問し、ゆかりの地等をめぐりながらふるさと松江との歴史的なつながりを体感する体験的な学習プログラムを実施する。	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	●								○		・11月9日の大口町児童の訪問にあわせて、松江市の児童との交流を実施。大口町訪問・交流は12月7日～8日に実施。訪問児童による成果報告会を2月15日に実施。R6～事業名を「大口町交流事業ウインタースクール」に変更。	松江市の代表として、リーダー育成の観点から、児童同士の交流や訪問、成果報告会等の内容について、更に検討していく必要がある。R6～事業名を「大口町交流事業ウインタースクール」に変更。	2,210千円	・8月19日の大口町児童の訪問にあわせて、松江市の児童との交流を実施予定。大口町訪問・交流は12月6日～7日、訪問児童による成果報告会を2月15日に実施予定。	1,863千円	学校教育課
176	「夢☆未来」ふるさと・キャリア教育推進事業	学校・家庭・地域が連携したキャリア教育の推進を図るほか、「松江城授業プロジェクト」と称し、ふるさと教育の充実を図るため、市内すべての小学校と義務教育学校の6年生が「松江城」「松江歴史館」に実際に行つて本物を体験する。	教育委員会	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●				●		○		・市立小・義務教育学校において、すべて予定通り見学が行われた。	松江城見学により学んだことを「表現」する場を確保している学校に限られている。学校間交流や、保護者・地域へ向けての発表場面を設定することにより、学んだことを発信できる「仕掛け」づくりを進め、児童のプレゼン力向上を目指す。	4,673千円	・市立小・義務教育学校において、複式学校1校を除きすべての学校で見学実施予定。1学期段階で4校が実施済み。	3,351千円	学校教育課
177	美保関歴史生活体験資料館運営事業	美保関歴史生活体験資料館の管理運営を行う。	教育委員会	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●				●		○		・運営業務委託先:松江市美保関歴史・生活体験活動推進協議会 ・市内の小学生等の体験学習の受け入れを行っている ・体験学習実施学校数7校	希望のあった学校についてすべて体験事業を実施することができた	2,457千円	・運営業務委託先:松江市美保関歴史・生活体験活動推進協議会 ・市内の小学生等の体験学習の受け入れを行っている ・学習活動としての予約が数件	2,038千円	生涯学習課

No	事業名	事業概要	担当部局	事業年度								六つの取組の視点					進捗状況		実績	分析	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課			
				第1期				第2期				知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	予定どおり進捗した							予定どおり進捗しなかった		
				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10																
【柱2】地域に根づく伝統文化																											
★	文化財情報発信施設整備事業(文書館)【再掲】	松江市の所有する歴史的に重要な公文書と地域に残る歴史資料(古文書等)を収集・保存し、市民の利用に供するための施設「松江市文書館」を整備するもの。	文化スポーツ部																	—	—	—	市民等が歴史的公文書や地域の歴史資料などの史料をもとに、地域の歴史を知ることのできる拠点として、現在の松江市環境センターを改修し文化財情報発信施設の一つとして「文書館」を整備するもの。令和7年度は設計業務委託を行う。	1,996千円	松江城・史料調査課		
201	中海振興事業	中海や中海周辺における文化振興、水産振興、農業振興などに取り組むため策定した「松江市中海振興ビジョン」を推進し、中海周辺の地域振興に取り組む。併せて、中海振興多目的施設(なかうみスカイポート)の利用促進を図るもの。	政策部																	○		・中海振興ビジョン掲載事業のR6年度の当初予算額と新規事業の照会を行い、進捗管理を行った。 ・施設利活用策の検討のため、カヌーヨット体験(9/7.8)の実証実験を実施した。 SUP体験(9/21)の実証実験は悪天候により中止とした。 ・野鳥観察会を2/15(土)に実施した。	・中海振興ビジョン掲載事業の進捗管理を行う。 ・実証実験の結果などから当該施設の活用策の検討を行う。	1,209千円	・中海振興ビジョン掲載事業の進捗管理を行う。 ・中海スポーツパーク魅力向上検討会議を立ち上げ、中海スポーツパーク多目的グラウンドおよびその周辺を含めたエリア(中海振興多目的施設含め)の魅力向上に向け、エリアのコンセプトを検討する。	118千円	地域政策課
202	地域花火実施事業	地域花火の開催を支援することで、地域の賑わい創出や地域コミュニティ活性化にもたらす効果等を検証し、今後の地域花火のあり方について検討する。	観光部																	○		・現在15件申請。15件交付決定。 ・補助対象経費の10分の10以内の額(未滿切捨て)とし、1団体あたり200千円を上限とした。	・引き続き、地域独自の花火大会(新規・既存問わず)の開催を支援し、地域のにぎわい創出、コミュニティの維持に対してもたらす効果等を検証する。 ・補助対象経費の10分の10以内の額(未滿切捨て)とし、上限200千円。	3,000千円	・現在8件申請。8件交付決定。 ・補助対象経費の10分の10以内の額(未滿切捨て)とし、1団体あたり200千円を上限とした。	3,400千円	観光振興課
203	SNS等による情報発信推進事業【再掲】	多種多様な伝統文化芸術を誰もが興味を持てるように、文化・スポーツ関係イベントを約1分程度のニュース動画にわかりやすくまとめ、年間を通じてYouTubeやSNS等で発信する。	文化スポーツ部																	○		3月末までに9本の動画を制作し、YouTubeに掲載した。それぞれの動画について今年度は、若者をターゲットにしたYouTube広告を出すことにより、これまで本市の伝統文化芸術に関心が薄かった若者世代に情報を伝えるができ、視聴回数的大幅な増加につながった。 【平均視聴回数(3月末時点)】 令和6年度制作動画・・・13,686回	令和5、6年度にさまざまな分野の文化イベント動画を制作した。これらを、より多くの方に見ていただき、松江の伝統文化芸術を知っていただくため、既存動画の周知を行う。	2,452千円	—	—	文化振興課
204	松江の文化力次世代育成・継承事業【再掲】	子どもとその保護者などに、松江の伝統文化芸術を知る、体験するなどの機会を継続して提供するとともに、地域の伝統行事に携わる団体を支援することで、七つの柱の共通課題である次世代育成や伝統文化芸術の継承を図る。	文化スポーツ部																	○		【松江の文化力体験推進事業】 日本旅行Tis松江が運営し、予定した14講座すべてが完了した。参加者目標値もクリアし、興味関心の高さを感じた。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 申請件数: 1件 途中公民館の連絡会で周知する等取り組んだ。	・引き続き、子どもと保護者をメインターゲットとして市民に松江の文化力を知り、楽しみながら体験する機会を提供することで、松江の文化力への関心を高め、郷土愛の醸成を育み、担い手の確保や地域の伝統文化の継承を図る。 ・地域に根づく伝統行事の保存・継承の取り組みを支援し、伝統行事の継承を図る。	4,763千円	【松江の文化力体験推進事業】 日本旅行Tis松江が運営し、9月以降7つの体験教室を予定している。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 申請件数: 0件 ※7月に1件申請予定。 引き続き事業の周知を行い、地域に根づく伝統行事の保存・継承の取り組みを支援する。	2,500千円	文化振興課
205	郷土芸能継承発展事業	地域伝統芸能祭の開催や保存団体などの支援を通して、伝統芸能文化の継承の機運を高める。	文化スポーツ部																	○		3/2開催の松江伝統芸能祭の開催に向け、準備を進めている。運営はTSKに委託する。 出演予定団体との打合せを行い、出演順や演出について調整を行った。	・引き続き加盟団体に対し、啓発・発信にかかる取り組みや後継者の確保・育成に繋がる事業等の活動支援を実施する。 ・2年に1回開催するとして「松江伝統芸能祭」を開催する。	3,720千円	・6/10松江市伝統芸能文化保護育成協議会を開催 ・今年度「後継者育成支援事業」の助成金を新設し、各団体の後継者育成支援を開始 ・SNSの発信(佐陀神能)	1,631千円	文化振興課
206	佐陀神能用具等修理・新調事業【再掲】	佐陀神能で使用している面、衣装、用具等の老朽化が激しいことから、佐陀神能保存会が行う、文化庁の補助金を活用した修理・新調事業の支援をする。	文化スポーツ部																	○		・今年度完成予定だった面3点について、復元新調が完了し、8月上旬に文化庁による現地指導を行い、事業が完了した。	令和6年度で事業終了	448千円	—	—	文化振興課
207	文化力を生かしたまちづくり推進事業【再掲】	「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。	文化スポーツ部																	○		【審議会】 第1回審議会:9月26日開催 第2回審議会:3月26日開催 【松江の文化力を生かしたまちづくりに関するアンケート】 7月29日～8月31日実施 【松江市伝統文化芸術振興計画 第2期実施計画】 R7.3月策定	引き続き文化芸術振興事業の進捗管理を行うとともに、「文化力を生かしたまちづくり条例」や「松江市伝統文化芸術振興計画」の認知向上を図る。	223千円	引き続き文化芸術振興事業の進捗管理を行うとともに、「文化力を生かしたまちづくり条例」や「松江市伝統文化芸術振興計画」の認知向上を図る。	623千円	文化振興課